

Vbus-73C

Vbus-73C は、当社 70 シリーズモジュールの実装用筐体です。各種 70 シリーズモジュールを最大 3 枚実装可能でモジュールの選択、組み合わせによりさまざまなシステムに対応できます。オプションを使用する事により電源 2 重化での運用も可能です。

■特長

- ✓ REF IN(BBS, 3 値シンク対応, ループスルー付)標準装備 ※1※2
- ✓ Vbus-73C と 70 シリーズモジュールの状態監視を行う SNMP 機能標準装備※3
- ✓ 静音設計(当社比)
- ✓ 振動対策標準装備
- ✓ 前面パネルは開閉可能で、モジュールの調整や交換が容易 ※4
- ✓ アラーム接点はモジュール異常、FAN 異常、電源異常、電源停止のいずれかでクローズ ※5
- ✓ 70 シリーズを最大 3 枚まで実装可能 ※6、※7
- ✓ 電源 2 重化オプションに対応 ※8
- ✓ Web Server オプションを使用することで、ブラウザからモジュールの構成情報や設定確認、エラー監視コントロールが可能 ※8

※1 同一筐体内に、70 シリーズコントローラ系モジュールや REF MASTER モード (INTERNAL MASTER、LINE MASTER、EXT MASTER) に設定したモジュールを複数入れないでください。

REF IN を使用する際は、各種 70 シリーズモジュールの REF 設定を REF MASTER モード (INTERNAL MASTER、LINE MASTER、EXT MASTER) にしないでください。

70 シリーズコントローラ系モジュールや REF MASTER モードに設定したモジュールを筐体へ実装する際は、前面パネルを取り外し SNMP/REF 基板の正面スライドスイッチにより REF 機能を OFF にしてください。

同期をマスターに設定できるモジュールは筐体内に 1 モジュールだけです。複数マスターに設定された場合、内部で同期信号が衝突し出力映像が乱れることがあります。

※2 REF IN 同期対応は 1080i60/59.94/50、720p60/59.94/50、1080p30/29.97/25/24/24sF/23.98/23.98sF、525i、625i、になります。

※3 SNMPv1 で動作します。

※4 運用時は前面パネルを閉めてください

※5 モジュール異常のアラーム接点に付きましては、未対応製品もございますのでご注意ください。
詳細に付きましては当社製造技術部までお問い合わせください。

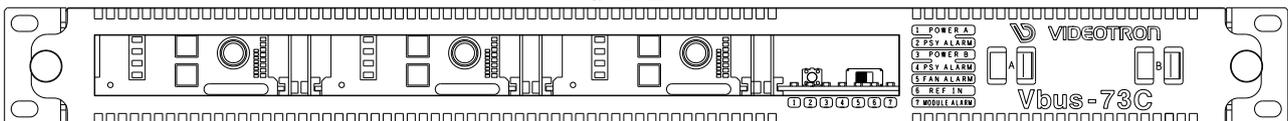
※6 2 スロット以上を使用する 70 シリーズモジュール (MTX-70-84、SW-70-422 等) は実装できませんのでご注意ください。

※7 以下の旧モジュール製品については、Vbus-C シリーズ筐体に対応しておりません。
出荷時の筐体にてご使用ください。

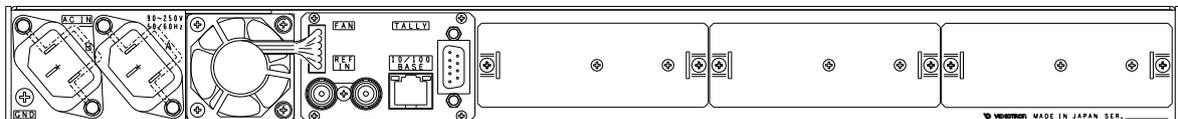
機種名 : VT-70HD、VT-70SD、TLG-70HD、TLG-70SD、PG-70HD、PG-70SD

※8 オプションのご購入については当社営業部までお問い合わせください。

前面図



背面図



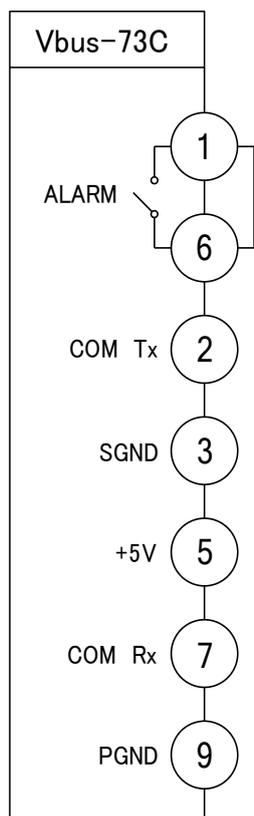
構成

筐体	Vbus-73C
73形筐体用電源2重化オプション	Vbus-73C-01 標準1台 筐体へ実装済み
73形筐体用ファンユニット	Vbus-73C-02 筐体へ実装済み
VbusC SNMP BOARD	Vbus-SNMP-07 筐体へ実装済み

定格

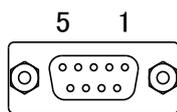
入力信号	
・REF IN	BBS:0.43Vp-p/75Ω 3値SYNC:0.6Vp-p/75Ω、BNC 1系統
リファレンスフォーマット	1080i60/59.94/50、720p60/59.94/50、 1080p30/29.97/25/24/24sF/23.98/23.98sF、525i、625i
最大実装モジュール数	3枚
最大消費電力	120VA
消費電力(実装モジュール無し)	10VA
内部供給電力	55VA
外部/F	
・GPI	Dsub-9(f) インチネジ AC・DC 60V 200mA ※アラーム接点はモジュール異常、FAN 異常、電源異常、電源停止、REF 異常のいずれかで1-6番ピンがクローズします。
・10BASE-T/100BASE-TX	RJ-45 1系統
動作温度	0~40°C
動作湿度	20~80%RH(但し、結露無き事)
電源電圧	AC90~250V 50/60Hz
外形寸法	438W×44H×346.1D(突起物は含まず)
質量	6kg

GPI仕様



Vbus TALLY ピン配列

D-Sub9pin (f)



筐体背面側

モジュール異常 ※1、FAN 異常 ※2、電源異常 ※3
電源停止、REF異常 ※4、のいずれかで1-6番ピンがMAKEします。
ピン間の絶対最大定格は60V、200mAです。

2-7番ピンにて、専用ケーブルでパソコンのRS-232C I/Fに接続し
汎用ターミナルソフトを使用して筐体のIPアドレスの確認、変更が可能です。
専用ケーブルに関しては弊社までお問い合わせ下さい。

5番ピンは未接続にしてください。

※1 モジュール異常のアラーム接点は、未対応製品も
ございますので注意してください。詳細に関しては
弊社までお問い合わせください。

※2 FANの回転数が規定回転数を下回る時。

※3 電源が規定電圧(4.75V)を下回る時。

※4 ディップスイッチの設定が必要になります。

ケーブル用適合コネクタ

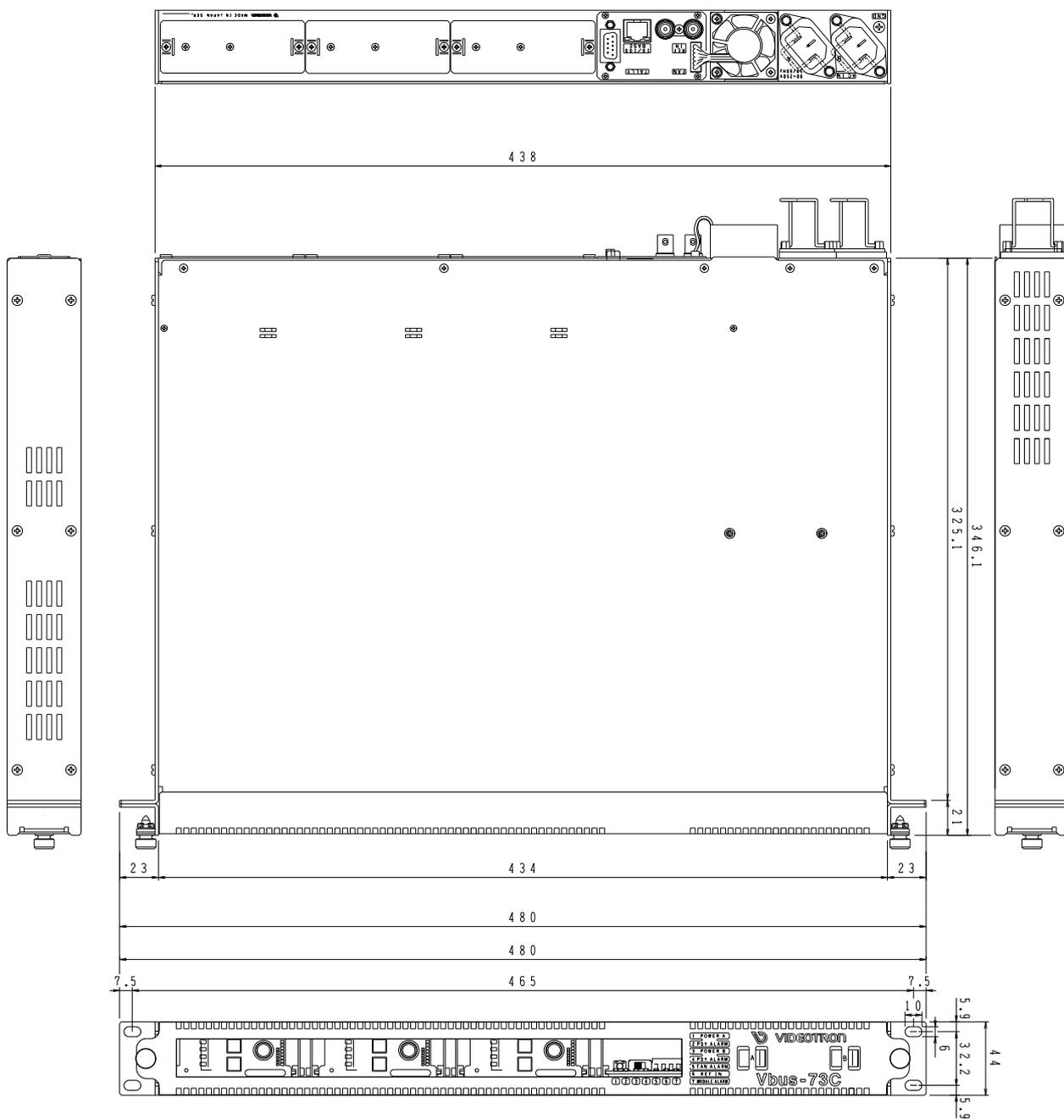
型番:HDEB-9P(メーカー:HIROSE)

ケーブル用適合コネクタカバー

型番:17JE-09H-1C(メーカー:DDK)

※必ず上記の指定されたコネクタ、カバーを使用してください。

外形寸法図



※注外観及び仕様は変更することがあります。